

<勝山長寿会での雪のライドショー報告： 令和5年3月2日、午前10時～午前11時実施>

三谷文化振興財団の助成事業「雪の結晶を“福井の教育・観光・高齢者生きがい”に」の第8回を、本日えちぜん鉄道勝山駅の近くにある“元町2丁目ふれあい会館”において実施しました。上元禄長寿会の役員15名が、役員会開催前の1時間を割いて参加して下さいました。ライドを使って雪の結晶観察や人工雪生成実験の背景をお話しした後、“雪のライドショー”を約20分上映しました。実際に顕微鏡で雪のレプリカの観察もしてもらいました。また、一般の方からよく出る質問、“雪はなぜ六角か？”を取り上げ、半球状のプラスチック容器にBB弾を入れて実演しました。参加された長寿会の役員の方々は大変喜んでくださり、改めて雪の結晶に興味を持って頂きました。



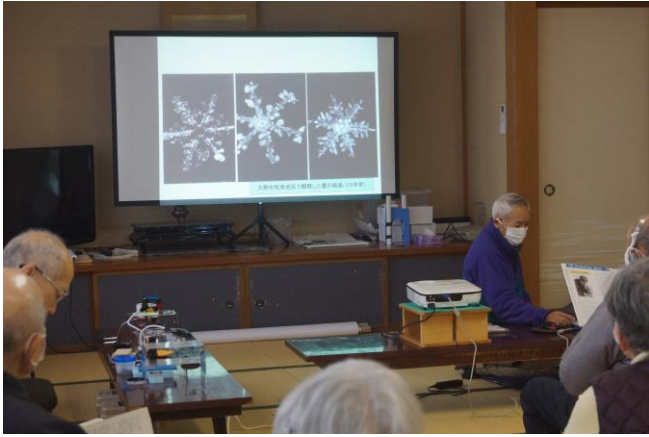
昭和の雰囲気を残している
えちぜん鉄道勝山駅



勝山駅の前



長寿会の役員会の前
1時間を利用して雪のライド
ショー



大野市和泉地区で撮影した
雪の結晶写真（25年前）



マルチカラー照明で色づく
ボタン雪を見る参加者



雪のレプリカをミニ顕微鏡
で観察し i-Pad 画面に表示



“雪はなぜ六角か？”
を BB 弾を使って説明



“雪はなぜ六角か？”
を BB 弾を使って説明